

令和5年度
経営発達支援事業評価委員会報告書

福島市商工会広域連携協議会
(飯坂町商工会・松川町商工会・飯野町商工会)

事業評価について

I. 評価の目的

経営発達支援計画に基づき実施した事業に対し、客観的な事業の評価・検証を行い、次年度以降の各事業の見直し等につなげることを目的とする。

II. 評価する事業項目

1. 地域の経済動向調査に関する事
2. 経営状況の分析に関する事
3. 経営計画策定支援に関する事
4. 事業計画策定後の実施支援に関する事
5. 需要動向調査に関する事
6. 新たな需要開拓に寄与する事業に関する事
7. 地域経済の活性化に資する取組
8. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

III. 評価の方法

(1) 【1. 地域の経済動向調査に関する事／2. 経営状況の分析に関する事／3. 経営計画策定支援に関する事／

4. 事業計画策定後の実施支援に関する事／5. 需要動向調査に関する事／6. 新たな需要開拓に寄与する事業に関する事】は次の方法で評価する。

目標数値に対する事業の実績を以下の評価項目（A・B・C・D）で達成度合いを示し、経営発達支援事業評価委員会がその達成度と実施方法等から検証し、評価・見直しする方法で評価する。

評価項目（A・B・C・D）

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| A. 目標を達成することができた。 | [目標達成率：100%以上] |
| B. 目標を概ね達成することができた。 | [目標達成率：80%～99%] |
| C. 目標を半分程度しか達成できなかった。 | [目標達成率：30%～79%] |
| D. 目標を殆んど達成することができなかった、または未実施。 | [目標達成率：30%未満] |

(2) 【7. 地域経済の活性化に資する取組／8. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組】は次の方法で評価する。

評価項目(4・3・2・1)で達成度や達成感を示し、経営発達支援事業評価委員会がその実施内容を検証し、評価・見直しする方法で評価する。

評価項目(4・3・2・1)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 4. 良くできた。 | [達成度・達成感：100%] |
| 3. 概ねできた。 | [達成度・達成感：60%～99%] |
| 2. 余りできなかった。 | [達成度・達成感：20%～59%] |
| 1. できなかった。 | [達成度・達成感：20%未満] |

IV. 評価・見直し等の反映

経営発達支援事業評価委員会からの評価を基に、各商工会理事会へ報告し、評価を基に事業の見直しと方向性を決定し、3商工会の通常総会にて承認を受ける。事業成果及び評価、見直し結果は各商工会のホームページ等で公表し広く周知する。

(3) 情報の活用

収集した情報は業種別に整理し、前年度との比較、地域内と地域外の景況感を比較して、経営指導員間で要因分析を行い、3商工会の共有データとして集積(3商工会の組織内に集積・ファイル共有化)する。

小規模事業者への経営状況分析や事業計画策定支援等の際の経営支援に積極的に活用するとともに、各々の商工会ホームページに掲載、定期発行の商工会通信(紙ベース)に新たな分析結果を纏めた概要版を作成、配布して広く情報提供に努める。

なお、令和4年度より、上記(1)において調査方法を改めることで、従前の情報活用に加え、各商工会において個別支援ニーズをタイムリーに把握し、迅速な支援に努める。

(3) 情報の活用

上記(1)の調査分析は「経営動向調査集計結果」として集約し、3商工会のHPで公表した。また3商工会で収集し分析した詳細データについては広域内で共有し経営支援に活用した。

個別支援ニーズについては伴走型の経営支援を実施し、販路開拓、事業承継マッチング、人材不足への対応を行った。

【実績】

項目	目標	実績	達成率
地域経済動向のホームページ等での周知回数	2	2	100%

評価	A	B	C	D
	4	2	0	0

【評議委員コメント欄】

特になし

1. 地域の経済動向調査に関すること

【課題や問題点】

コロナ禍明けで以前の経営環境に戻ることが期待されたが、調査の結果により多くの事業所で以前並みの経営環境に戻っていないことが分かった。物価高騰による収益率の悪化やコロナ過で人員削減をしたことによる人手不足の影響も経営を圧迫している。そうした状況を踏まえ、会員の個別ニーズに対応するため伴走型の経営支援により個々の課題解決に取り組んだが、継続的に支援する必要がある。

【改善点】

今年度から会員全員調査だったが回収目標を低く設定したままだったので、回収達成率は結果的に大きく上回ったものの、実質回収率は会員総数の15%程度に留まっており、全体的な会員ニーズの把握にはサンプル数が不足している。今後の調査内容、調査手段についても検討の余地がある。

経営発達支援計画の内容	実施内容（実績・成果）	評価委員による評価																																														
<p>2. 経営状況の分析に関すること</p> <p>（1）経営分析（財務・定性分析）の実施 商工会の基本でもある巡回・窓口・記帳指導を通じて、今現在、経営状況を把握する必要性が高い事業所選定を行っていくとともに、個社の経営状況の実態把握に向け、経営分析個別相談会を開催する。 その際、職員が事前に個社の財務関係資料からローカルベンチマーク等を用いた財務分析を行い、分析データから読み取れる経営状況について実態を把握する。その後、個別相談会において、商品・サービスの内容や顧客・競合の状況・保有する技術・ノウハウ・組織体制・人材育成等について聞き取り、事業者の強み・弱み、外部環境の機会・脅威をSWOT分析（定性分析）により整理し、財務分析結果と合わせて事業計画策定へ向けた方向性を導き出す。</p> <p>経営分析個別相談会実施時期 飯坂町商工会 令和5年8月以降 全2回程度実施 松川町商工会 令和5年8月以降 全2回程度実施 飯野町商工会 令和5年8月以降 全2回程度実施</p>	<p>2. 経営状況の分析に関すること</p> <p>（1）経営分析（財務・定性分析）の実施 個社の経営状況の実態把握をするため、経営分析個別相談会を実施した。財務分析については、個社の財務関係資料からローカルベンチマーク等を活用して行い、定性分析については、事業者との対話を通じSWOT分析を行った。</p> <p>【実績】</p> <table border="1" data-bbox="1016 528 1659 863"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営分析個別相談会開催回数</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td> 飯坂町商工会</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td> 松川町商工会</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td> 飯野町商工会</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>経営分析件数</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>113%</td> </tr> <tr> <td> 飯坂町商工会</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td> 松川町商工会</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>117%</td> </tr> <tr> <td> 飯野町商工会</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>125%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	実績	達成率	経営分析個別相談会開催回数	6	6	100%	飯坂町商工会	2	2	100%	松川町商工会	2	2	100%	飯野町商工会	2	2	100%	経営分析件数	16	18	113%	飯坂町商工会	6	6	100%	松川町商工会	6	7	117%	飯野町商工会	4	5	125%	<p>評価委員による評価</p> <table border="1" data-bbox="1697 432 2069 501"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評議委員コメント欄】 SWOT分析は「強み、弱み、機会、脅威」だけだと簡単に終わってしまう。例えば「強み」の中でも「ヒト・モノ・カネ・情報」等、細分化して企業の状況（不安）を想定しながら聞く必要がある。</p>	評価	A	B	C	D		6	0	0	0
項目	目標	実績	達成率																																													
経営分析個別相談会開催回数	6	6	100%																																													
飯坂町商工会	2	2	100%																																													
松川町商工会	2	2	100%																																													
飯野町商工会	2	2	100%																																													
経営分析件数	16	18	113%																																													
飯坂町商工会	6	6	100%																																													
松川町商工会	6	7	117%																																													
飯野町商工会	4	5	125%																																													
評価	A	B	C	D																																												
	6	0	0	0																																												
<p>2. 経営状況の分析に関すること</p> <p>【課題や問題点】 より多くの事業者の経営分析支援を行い、事業計画策定につなげていきたい。</p> <p>【改善点】 今後、他の商工会が実施している方法等も参考にし、分析方法の見直し・改善を図る。</p>																																																

経営発達支援計画の内容	実施内容（実績・成果）	評価委員による評価																																																												
<p>3. 事業計画策定支援に関すること</p> <p>（1）既存事業者に対する支援</p> <p>①事業計画の策定を希望する事業者 経営分析や、巡回等による経営状況のヒアリングを基に事業所の選定を行い、中長期的な経営計画の策定による企業の持続的発展に向けた支援を行う。 具体的な手法としては、専門家派遣事業を活用したセミナーの開催や個別相談会の開催などを通し経営計画の策定件数を増やすと共に、持続化補助金等の各種補助金を活用することで、事業所の経営基盤強化を図る。 また、経営計画の策定については、職員がこれまで蓄積してきたスキル、ノウハウを活用するほか、高度なアドバイスが必要な案件については、専門家派遣による個別指導を活用し、経営計画のブラッシュアップを行う。</p> <p>実施時期 事業所選定：随時 事業計画策定：随時</p> <p>②事業承継を希望する事業者 福島県事業承継引継ぎ支援センターと連携して実施したアンケート結果を基に、昨年に引き続き継続的な事業承継支援を行う。また、今年度新たに事業承継支援を希望する事業所については、随時引き継ぎ支援センターと連携をとりながら事業所の支援を行う。 具体的には、各種支援機関との連携のうえ事業承継計画の策定・実行支援、M&Aなどのマッチング支援を実施する。</p> <p>実施時期 事業承継計画支援：令和5年8月～</p>	<p>3. 事業計画策定支援に関すること</p> <p>（1）既存事業者に対する支援</p> <p>① 事業計画の策定を希望する事業者 巡回等による経営状況のヒアリングやセミナー等を通し事業所の選定を行い、経営計画の策定支援を行った。 具体的な手法として巡回による案件創出のほか、経営計画策定セミナーの開催による受講者の意識改革を図った。 今回のセミナーでは、昨年に引き続き経営計画の重要性や経営計画の策定プロセスの他、環境分析に活用できるツールの紹介等も行った。 また、補助金等の申請を行う事業所については、経営指導員によるフォローアップを実施した。</p> <p>【セミナー開催実績】</p> <p>① 経営計画策定セミナー 令和5年11月14日（火） 経営計画作成の重要性と現状分析 21日（火） 経営計画作成プロセス、ITの活用方法</p> <p>【実績】</p> <table border="1" data-bbox="1016 820 1659 986"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業計画策定事業者数</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>115%</td> </tr> <tr> <td> 飯坂町商工会</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td> 松川町商工会</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td> 飯野町商工会</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>166%</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 事業承継を希望する事業者 今年度については、新規の事業所に対する支援の他、前年度から指導している事業所を中心に継続支援を行った。また、日本政策金融公庫の事業承継マッチング支援事業に登録することで、長期的な視点での事業承継に向けた取組も行った。</p> <p>【実績】</p> <table border="1" data-bbox="1016 1206 1659 1406"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業承継計画策定事業者数</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>200%</td> </tr> <tr> <td> 飯坂町商工会</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>300%</td> </tr> <tr> <td> 松川町商工会</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>200%</td> </tr> <tr> <td> 飯野町商工会</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	実績	達成率	事業計画策定事業者数	13	15	115%	飯坂町商工会	5	5	100%	松川町商工会	5	5	100%	飯野町商工会	3	5	166%	項目	目標	実績	達成率	事業承継計画策定事業者数	3	6	200%	飯坂町商工会	1	3	300%	松川町商工会	1	2	200%	飯野町商工会	1	1	100%	<p>評価委員による評価</p> <table border="1" data-bbox="1697 724 2067 791"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評議委員コメント欄】 「計画策定」、「事業承継」、「新規創業」は相互に関連している為、3商工会で連携することでマッチングが可能ではないか。</p> <table border="1" data-bbox="1697 1241 2067 1308"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評議委員コメント欄】 特になし</p>	評価	A	B	C	D		6	0	0	0	評価	A	B	C	D		6	0	0	0
項目	目標	実績	達成率																																																											
事業計画策定事業者数	13	15	115%																																																											
飯坂町商工会	5	5	100%																																																											
松川町商工会	5	5	100%																																																											
飯野町商工会	3	5	166%																																																											
項目	目標	実績	達成率																																																											
事業承継計画策定事業者数	3	6	200%																																																											
飯坂町商工会	1	3	300%																																																											
松川町商工会	1	2	200%																																																											
飯野町商工会	1	1	100%																																																											
評価	A	B	C	D																																																										
	6	0	0	0																																																										
評価	A	B	C	D																																																										
	6	0	0	0																																																										

(2) 新規創業者に対する支援

創業を希望する事業所については、福島商工会議所や日本政策金融公庫が主催する創業セミナーへの参加を促すとともに、創業予定者や創業後5年以内の事業所については、創業計画の策定に向けた経営計画の策定を支援する。また、事業計画の実現可能性、将来性、採算性を総合的に勘案し指導を行うことで計画書の精度を高める。

専門的な経営課題については専門家派遣事業を活用し、資金需要に関しては、日本政策金融公庫等の金融機関による金融斡旋を行い、円滑な事業計画遂行を支援していく。また、税務・記帳指導等の日常業務については、経営支援員等による継続的な支援を行う。

実施時期

新規創業者支援：随時

(2) 新規創業者に対する支援

創業を希望する事業者については、商工会議所主催の創業セミナーを紹介するほか、創業後5年以内の事業所については、販路開拓支援や税務に関する指導を中心に支援を行った。

【実績】

項目	目標	実績	達成率
新規創業計画策定 事業者数	3	5	166%
飯坂町商工会	1	2	200%
松川町商工会	1	2	200%
飯野町商工会	1	1	100%

評価	A	B	C	D
	5	1	0	0

【評議委員コメント欄】

特になし

3. 事業計画策定支援に関すること

【課題や問題点】

- ・年々経営計画策定事業者が減少しているため、対策が必要。

【改善点】

- ・成功事例による口コミや巡回などを通して指導件数を増やしていきたい。

経営発達支援計画の内容	実施内容（実績・成果）	評価委員による評価																																																																												
<p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること</p> <p>（1）既存事業者に対する事業実施後の指導内容 事業計画を策定した小規模事業者に対し、四半期に1度定期的に巡回を行い、事業計画の進捗状況の確認を行うと共に、必要に応じてフォローアップを行う。訪問の際にはアクションプランに基づいた進捗状況の確認のほか、新たな課題がある場合には課題解決に向け指導を行う。</p> <p>実施時期 フォローアップ支援：最低でも四半期ごとに1回</p> <p>（2）新規創業者に対する事業実施後の指導内容 3ヶ月に1度定期的にフォローアップの巡回訪問を実施する。事業計画策定事業者については、事業進捗状況を確認するとともに、資金繰りや売上状況などを確認しながら金融支援、税務支援も含めて、必要があれば計画の変更についても検討する。また、税務・記帳については決算期だけでなく、適正な経理処理がなされているか定期的に確認していく。</p> <p>実施時期 フォローアップ支援：最低でも3ヶ月に1回</p>	<p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること</p> <p>（1）既存事業者に対する事業実施後の指導内容 事業計画を策定した事業者に対し、四半期に1度巡回を行い、フォローアップを行った。また、前年度経営計画を策定した事業者に対しても継続して支援を行った。</p> <p>【実績】</p> <table border="1" data-bbox="1016 528 1659 895"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業計画策定後 フォローアップ回数</td> <td>52</td> <td>61</td> <td>117%</td> </tr> <tr> <td> 飯坂町商工会</td> <td>20</td> <td>16</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td> 松川町商工会</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>125%</td> </tr> <tr> <td> 飯野町商工会</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>166%</td> </tr> <tr> <td>事業承継計画策定後 フォローアップ回数</td> <td>12</td> <td>19</td> <td>158%</td> </tr> <tr> <td> 飯坂町商工会</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>175%</td> </tr> <tr> <td> 松川町商工会</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>150%</td> </tr> <tr> <td> 飯野町商工会</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>150%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 小数点以下 四捨五入</p> <p>（2）新規創業者に対する事業実施後の指導内容 昨年からの新型コロナの影響により新たに創業を行う事業所が少なかったことから、創業5年未満の事業所を中心に経営支援・税務支援を行った。</p> <p>【実績】</p> <table border="1" data-bbox="1016 1155 1659 1353"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>創業者に対する フォローアップ回数</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>116%</td> </tr> <tr> <td> 飯坂町商工会</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>200%</td> </tr> <tr> <td> 松川町商工会</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>125%</td> </tr> <tr> <td> 飯野町商工会</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	実績	達成率	事業計画策定後 フォローアップ回数	52	61	117%	飯坂町商工会	20	16	80%	松川町商工会	20	25	125%	飯野町商工会	12	20	166%	事業承継計画策定後 フォローアップ回数	12	19	158%	飯坂町商工会	4	7	175%	松川町商工会	4	6	150%	飯野町商工会	4	6	150%	項目	目標	実績	達成率	創業者に対する フォローアップ回数	12	14	116%	飯坂町商工会	4	8	200%	松川町商工会	4	5	125%	飯野町商工会	4	1	25%	<p>評価委員による評価</p> <table border="1" data-bbox="1697 560 2063 628"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評議委員コメント欄】 フォローアップ件数の減少を食い止めるには、フォローアップに行く「きっかけ」を作ると良い。例えば、記帳指導をしている先には毎月の経営状況の試算表を持っていくだけでも「きっかけ」となる。</p> <table border="1" data-bbox="1697 1241 2063 1310"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評議委員コメント欄】 特になし</p>	評価	A	B	C	D		5	1	0	0	評価	A	B	C	D		3	3	0	0
項目	目標	実績	達成率																																																																											
事業計画策定後 フォローアップ回数	52	61	117%																																																																											
飯坂町商工会	20	16	80%																																																																											
松川町商工会	20	25	125%																																																																											
飯野町商工会	12	20	166%																																																																											
事業承継計画策定後 フォローアップ回数	12	19	158%																																																																											
飯坂町商工会	4	7	175%																																																																											
松川町商工会	4	6	150%																																																																											
飯野町商工会	4	6	150%																																																																											
項目	目標	実績	達成率																																																																											
創業者に対する フォローアップ回数	12	14	116%																																																																											
飯坂町商工会	4	8	200%																																																																											
松川町商工会	4	5	125%																																																																											
飯野町商工会	4	1	25%																																																																											
評価	A	B	C	D																																																																										
	5	1	0	0																																																																										
評価	A	B	C	D																																																																										
	3	3	0	0																																																																										

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

【課題や問題点】

経営計画策定事業者の減少に伴い、フォローの件数が減少している。当該年度に限らず複数年度にまたがった継続的な支援により経営改善、経営安定につなげる必要がある。新規創業者は将来の商工会員になる可能性もあり、そのフォローは、創業の有無にかかわらず丁寧な支援が必要である。

【改善点】

巡回計画により定期的に訪問し、事業計画の遂行状況などを定期的に確認する。創業者についてもアポイントを取り定期的なヒアリングに取り組む必要がある。

経営発達支援計画の内容	実施内容（実績・成果）	評価委員による評価																																														
<p>5. 需要動向調査に関すること</p> <p>（1）域内需要動向調査の実施 個社の商品・サービスに対する需要動向に関する情報収集、整理、分析及び提供を行い、事業計画に活用していくとともに、小規模事業者に寄り添いながらの伴走型支援を実施する。 尚、食品製造小売業についての当初計画では3町でそれぞれ開催される地域イベントに出展して、需要調査動向調査を実施する予定でしたが、来場客の大半が地域住民となってしまう、ターゲットとなる客層が限定されてしまうこと、および集客性という観点も考慮すると、福島市の福島県観光物産館で出展したほうが、JR福島駅から近く、休日には、あらゆる年齢層の観光客が多く訪れ、集客も期待できることから、より精度の高い需要動向調査結果が期待できると判断し、昨年と同じく出展場所の変更を行う。 また、飲食サービス業、宿泊などの観光業については、現状のサービス内容に対する顧客満足度調査を実施し、お客様の生の声、意見を集約して更なる高品質なサービスの提供につなげる。</p> <p>【食品製造小売業】 ◆支援対象 地元食材を活用した菓子などの食品製造小売業 ◆調査対象 域内の一般消費者 ◆調査方法 福島県観光物産館で広域ブースを設け一般消費者にアンケート形式により聞き取り調査を実施する。 各店舗50サンプルを収集する。 ◆調査項目 基本項目：性別、年代、居住地域 個別項目：商品の「味」、「食感」、「見た目」、「大きさや量」、「価格」、「要望等（改善点等）」、「パッケージ」、「満足度」等 ◆活用方法 アンケート結果については商工会が整理分析し、個社にフィードバックして商品開発及び商品改良につなげ、販路拡大を見据えた事業計画に活用する。</p>	<p>5. 需要動向調査に関すること</p> <p>（1）域内需要動向調査の実施</p> <p>【食品製造小売業】 調査対象：催事（うまいものフェア）来場者 回答者：対象3店舗 合計160名 調査期間：令和5年10月27日（金）～28日（土） 支援活用：アンケートは集計し、集計結果をグラフ化・分析し、分析結果を個社支援に活用した。</p> <p>【実績】</p> <table border="1" data-bbox="1016 595 1659 994"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品製造小売業アンケート調査支援事業者数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td> 飯坂町商工会</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td> 松川町商工会</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td> 飯野町商工会</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>アンケート調査サンプル数 3社×50サンプル</td> <td>150</td> <td>160</td> <td>106%</td> </tr> <tr> <td> 飯坂町商工会</td> <td>50</td> <td>58</td> <td>116%</td> </tr> <tr> <td> 松川町商工会</td> <td>50</td> <td>52</td> <td>104%</td> </tr> <tr> <td> 飯野町商工会</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	目標	実績	達成率	食品製造小売業アンケート調査支援事業者数	3	3	100%	飯坂町商工会	1	1	100%	松川町商工会	1	1	100%	飯野町商工会	1	1	100%	アンケート調査サンプル数 3社×50サンプル	150	160	106%	飯坂町商工会	50	58	116%	松川町商工会	50	52	104%	飯野町商工会	50	50	100%	<p>評価</p> <table border="1" data-bbox="1697 368 2067 437"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評議委員コメント欄】 アンケート調査項目のうち例えば、「見た目」などについて、「良い」「悪い」だと、「良い」にしか付けない。「大人びたデザイン」「可愛いデザイン」など嗜好を評価軸にするとクロス分析がしやすくなる。</p>		A	B	C	D	評価	6	0	0	0
項目	目標	実績	達成率																																													
食品製造小売業アンケート調査支援事業者数	3	3	100%																																													
飯坂町商工会	1	1	100%																																													
松川町商工会	1	1	100%																																													
飯野町商工会	1	1	100%																																													
アンケート調査サンプル数 3社×50サンプル	150	160	106%																																													
飯坂町商工会	50	58	116%																																													
松川町商工会	50	52	104%																																													
飯野町商工会	50	50	100%																																													
	A	B	C	D																																												
評価	6	0	0	0																																												

(2) 飲食サービス業・宿泊業顧客サービス向上対策支援

【飲食サービス業】

- ◆支援対象 飲食店
- ◆調査対象 域内の一般消費者
- ◆調査方法 各店舗50サンプルの回収を目標に各店舗でアンケート形式の調査を実施する。回収は店主の前では書きにくい意見も反映できるよう、開封できないボックスにて投函してもらう。
- ◆調査項目 基本項目：性別、年代、居住地域
個別項目：来店動機、メニューの豊富さ、味、接客サービス、お店の雰囲気、清潔感、新たに希望するメニュー、価格設定、満足度、要望など
- ◆活用方法 各店舗でのアンケート結果については商工会が個店毎・項目毎に整理し、巡回訪問等を通じて事業者へフィードバックして、営業方法・サービス内容の改善や新しいメニューの開発、誘客策の検討など、個別の販路拡大を見据えた事業計画に活用する。

【宿泊業】

- ◆支援対象 飯坂町の宿泊業
- ◆調査対象 域内の一般消費者
- ◆調査方法 各店舗50サンプルの回収を目標に各店舗でアンケート形式の調査を実施する。回収は店主の前では書きにくい意見も反映できるよう、開封できないボックスにて投函してもらう。
- ◆調査項目 基本項目：性別、年代、居住地域
個別項目：来店動機、接客サービス、宿泊部屋の雰囲気、清潔感、価格設定、温泉評価、料理満足度など
- ◆活用方法 各店舗でのアンケート結果については商工会が個店毎・項目毎に整理し、巡回訪問等を通じて事業者へフィードバックして、営業方法・サービス内容の改善や新しいサービスの開発、誘客策の検討など、個別の販路拡大を見据えた事業計画に活用する。

(2) 飲食サービス業・宿泊業顧客サービス向上対策支援

【飲食サービス業の需要動向調査】

調査対象：対象店舗来店者
回答者：対象3店舗 合計145名
調査期間：令和5年11月～令和6年1月

【実績】

項目	目標	実績	達成率
飲食サービスアンケート調査支援事業者数	3	3	100%
飯坂町商工会	1	1	100%
松川町商工会	1	1	100%
飯野町商工会	1	1	100%
アンケート調査サンプル数 3社×50サンプル	150	146	97%
飯坂町商工会	50	45	90%
松川町商工会	50	51	102%
飯野町商工会	50	50	100%

【宿泊業の需要動向調査】

調査対象：対象店舗来店者
回答者：対象2店舗 合計65名
調査期間：令和5年11月～令和6年1月

項目	目標	実績	達成率
宿泊業アンケート調査支援事業者数	2	2	100%
飯坂町商工会	2	2	100%
アンケート調査サンプル数 2社×50サンプル	100	65	65%
飯坂町商工会	100	65	65%

支援活用：飲食サービス業及び宿泊業いずれもコロナ5類移行後繁忙期が続き、また、人手不足もありサンプル数は目標に達しなかったが、収集したアンケートは集計及びグラフ化及び分析し、対象事業者へフィードバック等個社支援に活用した。

評価	A	B	C	D
	4	2	0	0

【評議委員コメント欄】
特になし

評価	A	B	C	D
	3	2	1	0

【評議委員コメント欄】
特になし

(3) 域外（福島市外・首都圏）需要動向調査の実施

域外（福島市外や首都圏）への販路開拓を目指す事業者に対し、商圏外の一般消費者や商品知識の高いバイヤーに商品サンプル等を提示し、その商品に対するヒアリング調査を一事業者2ヶ年計画で実施する。1年目は新潟で開催された商談会「フードメッセ in にいがた」で調査を実施した。

2年目は1年目での反省点・改善点を踏まえて商品ブラッシュアップをすすめ、首都圏の顧客獲得の足掛かりとするため東京での商談会に参加する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により出展を見送った。3年目及び4年目も新型コロナウイルス感染症の影響により域外イベントへの出展を見送り、福島県観光物産館に出展し域内需要動向調査のみを行った。

今年度においても前年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により域外イベントへの出展を見合わせていたため、単年度での出展は事業効果が期待できないことから継続して実施している福島県観光物産館に出展し域内需要動向調査のみを行う予定。

(3) 地区外（福島市）需要動向調査の実施

事業効果を勘案し、域内需要動向調査に絞った事業を実施した。

評価	A	B	C	D
	■	■	■	■

※評価なし

【評議委員コメント欄】

特になし

5. 需要動向調査に関すること

【課題や問題点】

食品製造小売業の需要動向調査は調査対象者を県観光物産で実施した物産展時の来場者にし、更に調査方法は経営指導員による聞き取り記述式であったためサンプル数の目標を達成できた。また、アンケート結果は経営指導員が分析し、商品のブラッシュアップや販路開拓等個社支援に効果があった。

飲食サービス業・宿泊業においては、各対象事業者に調査を依頼し、目標サンプル数収集に努め調査期間を延長したもののコロナ後の繁忙期間と重なり、また、事業者の人手不足が要因で目標サンプルを収集できなかった。しかし、収集したアンケートは集計・グラフ化及び分析し、個社支援に活用できた。

【改善点】

飲食サービス・宿泊業のアンケート調査は調査方法の見直しが必要である。

経営発達支援計画の内容	実施内容（実績・成果）	評価委員による評価																																									
<p>6. 新たな需要開拓に寄与する事業に関すること</p> <p>（1）販路開拓支援の実施</p> <p>当初の計画では、3町でそれぞれ開催される地域イベントに出展して、販路開拓を図る予定としていたが、来場客の大半が地域住民となってしまう、ターゲットとなる顧客層が限定されてしまうこと、および集客性という観点も考慮すると、福島市の福島県観光物産館で出展したほうが、JR福島駅から近く、休日には、あらゆる年齢層の観光客が多く訪れ、集客も期待できることから、個社の売上拡大の効果が望めると判断し、出展場所の変更を行う。生産者自らが出展し、対面販売を行うことを原則として、地域間における“顔の見える”販路開拓・既存商圏の拡大に繋げる。その際に商工会職員は、セールストークのスキルアップ支援、店舗レイアウトや商品POPなどの出展に関する事前準備支援、出展当日における商品の需要動向の調査支援、出展後は顧客管理の構築、調査結果フィードバック及び商品改良に向けた伴走支援に取り組む。</p> <p>◆支援対象 販路開拓・商圏拡大を目指す3事業者（食品製造小売業等）</p> <p>◆出展先 福島県観光物産館</p> <p>開催概要：10月に2日間開催 来場者数：約2,000人 販売対象先：一般消費者（BtoC）</p> <p>（2）ITを活用した需要開拓</p> <p>IT活用希望する事業者に対して、自社ホームページでのEC取引拡大のため、必要に応じて商品説明や商品撮影などについて専門家の協力を得つつ、通信販売を意識した出品商品の選定や出品手続きをサポートするなど、インターネットを使った販売促進を支援する。</p> <p>また、自社ホームページを有していない小規模事業者については、自社商品・サービスの情報を発信する機会を創出するために、引き続き、商工会職員が「グーペ」を使い簡易ホームページ作成支援を行う。作成に当たっては、必要に応じて専門家からアドバイスを得て、デザイン性、機能性が高いホームページとする。</p> <p>コロナ禍においては、対面販売からEC取引への拡大が事業継続に向け重要であり、今年度はEC自社ホームページへのアクセス数向上を図るためSNSを活用したEC取引拡大を支援する。特にSNSは利用者も多く、</p>	<p>6. 新たな需要開拓に寄与する事業に関すること</p> <p>（1）販路開拓支援の実施</p> <p>実施期間：令和5年10月27日（金）～28日（土）2日間 実施場所：福島県観光物産館内催事会場 実施概要：催事名「飯坂・松川・飯野うまいものフェア」 各商工会より1事業者出店 合計3事業者</p> <p>【実績】</p> <table border="1" data-bbox="994 528 1668 794"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">目標</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福島市内販路開拓支援事業者数及び売上額(単位:万円、出展事業者合計金額)</td> <td>支援事業者数</td> <td>売上目標</td> <td>支援事業者数</td> <td>売上実績</td> <td>支援事業者数</td> <td>売上目標</td> </tr> <tr> <td>県観光物産館</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>18</td> <td>100%</td> <td>180%</td> </tr> </tbody> </table> <p>支援内容：来場者増加を図り、催事開催前10月23日（月）よりPR用パネルを作成し、県観光物産館入口に展示した。催事中は、商品陳列方法や来場者の導線、滞留時間を踏まえた販売促進について支援した。また、顧客獲得を図り、3事業者合同のパンフレットを作成し、来場者へ配布した。更に催事期間中実施した需要動向調査のアンケート協力者には、出店事業者の商品をプレゼントし、催事後の顧客獲得を図った。</p> <p>（2）ITを活用した需要開拓</p> <p>小規模事業者にHPやSNSによる販路拡大の重要性について説明し、積極的にITを活用するよう推進した。</p> <p>推進した小規模事業者でSNS活用やHP作成を希望した事業者については、専門家を活用しインスタやFacebookについて支援した。またHP作成希望事業者には簡易的なグーペの活用・作成から専門業者へ委託した自社HP作成まで幅広い支援を実施した。</p>	項目	目標		実績		達成率		福島市内販路開拓支援事業者数及び売上額(単位:万円、出展事業者合計金額)	支援事業者数	売上目標	支援事業者数	売上実績	支援事業者数	売上目標	県観光物産館	3	10	3	18	100%	180%	<p>評価委員による評価</p> <table border="1" data-bbox="1700 432 2069 501"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評議委員コメント欄】</p> <p>わかりやすいパンフレットを作成し良かった。あえて言うのであれば、「価格」や「QRコード」があった方が良かった。</p> <table border="1" data-bbox="1700 1145 2069 1214"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評議委員コメント欄】</p> <p>「グーペ」でホームページを作るだけでなく、作成後の分析フォローを行ってはどうか。</p>	評価	A	B	C	D		6	0	0	0	評価	A	B	C	D		6	0	0	0
項目	目標		実績		達成率																																						
福島市内販路開拓支援事業者数及び売上額(単位:万円、出展事業者合計金額)	支援事業者数	売上目標	支援事業者数	売上実績	支援事業者数	売上目標																																					
県観光物産館	3	10	3	18	100%	180%																																					
評価	A	B	C	D																																							
	6	0	0	0																																							
評価	A	B	C	D																																							
	6	0	0	0																																							

自社ECサイトへの導線づくりがしやすく新規顧客の獲得につながるだけでなく、SNSを通じたコミュニケーションにより顧客のロイヤルティを高められ、リピート客化も期待できる。

◆簡易ホームページ作成支援ツール：「グーペ」

【実績】

項目	目標	実績	達成率
ITを活用した需要開拓における支援事業者数	3	6	200%
簡易ホームページ作成支援	3	3	100%

6. 新たな需要開拓に寄与する事業に関すること

【課題や問題点】

催事出店による販路拡大支援は、事前PRとしてパネル作成展示、また催事後の顧客獲得を図ったパンフレットの作成・配布により、催事への来場者数増加・商品購入数の増加となった。また、事業者及び商品の認知度向上にも繋がった。

ITによる販路拡大の重要性を小規模事業者へ気づかせることにより、HP作成事業者が6社となりITを活用した需要開拓に大きな効果あった。

【改善点】

事業者の販路開拓に向け更なる手法を検討していく。

経営発達支援計画の内容	実施内容（実績・成果）	評価委員による評価																																								
<p>7. 地域経済の活性化に資する取組</p> <p>(1) 飯坂町商工会 地域経済活性化の取組 引き続き、飯坂温泉観光協会、飯坂温泉旅館協同組合とともに、“オールいざか”体制で、飯坂温泉への誘客PR振興事業に取り組むとともに、現在実施されている観光イベントを含めた観光及び地域の課題や対策、そして効果的な宣伝等について検討し、地域経済活性化等を地域全体で取り組むこととする。</p> <p>①各種団体との会議の開催 地域経済活性化策を検討するため飯坂温泉観光協会、飯坂温泉旅館協同組合等との会議を開催する。</p> <p>②情報発信の強化 首都圏を中心に観光協会等と共に商工会も観光宣伝に努め、観光客の誘致や交流人口の拡大を図る。</p> <p>(2) 松川町商工会 地域経済活性化の取組 福島市、JA、福島大学等との連携を図りながら交流人口を増やし、魅力ある街づくり、地域商店街の活性化、賑わいの創出と地域資源を活用したイベントや催しを開催する。</p> <p>(3) 飯野町商工会 地域経済活性化の取組 ①活性化委員会の開催 町内の街づくりグループ、農業従事者、飯野町商工会会員等を構成員とする活性化委員会を組織し、地域経済活性化のための研究会を月1回開催する。 ②計画策定・実施 上記会議により、地域経済活性化プランを策定・実施する。</p> <p>(4) 3町商工会 地域経済活性化の取組 ①3町商工会の連携強化による交流人口の増加 飯坂町商工会、松川町商工会、飯野町商工会の地域経済活性化の取組を融合させながらも、各々のオリジナル地域資源を活かしつつ、かつブラッシュアップ強化を図りながら、多様性を持たせ、多彩な地域資源に対して一過性に留まらず、3町を結び付けた「回遊」「宿泊・滞在」「リピート」の交流人口の増加を図るため、新たな事業機会の創出に向けた観光ルートの作成などを検討していく。</p>	<p>7. 地域経済の活性化に資する取組</p> <p>(1) 飯坂町商工会 地域経済活性化の取組 商工会女性部が中心となり、地域内の回遊性を高めることを目的に「福来朗一家めぐり」を開催。この事業は、女性部員が中心となり作成したフクロウの人形を、公共機関や女性部の店舗に展示しスタンプラリーを行うことで、来店客の回遊による地域活性化につなげるもの。</p> <p>① 各種団体との会議の開催 飯坂温泉観光協会などと協力しながら、イベントのPRおよび青年部・女性部が中心となり人的支援を行った。</p> <p>② 商工会のホームページやインスタグラム等を通して、地域のイベントのPRを行った。</p> <p>(2) 松川町商工会 地域経済活性化の取組 福島市、松川町観光協会と連携を図り、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から開催が中止となっていた「あじさい小路」を令和5年6月24日と25日の二日間、土合館公園にて4年ぶりに開催。約1,500人の来場があり大盛況であった。</p> <p>(3) 飯野町商工会 地域経済活性化の取組 飯野まちづくり研究会（旧活性化委員会 10月から名称変更）運営を支援した。研究会を中心に、地域経済活性化に資する事業として、次に挙げる事業を実施した。 ◆ショッピングストリート歩行者天国（7/30） ◆UFOの里まつり（11/11） いずれも3千人を超える来場があり大盛況であった。</p> <p>(4) 3町商工会 地域経済活性化の取組 3町の地域資源を活用して、交流人口の増加と新たな事業機会の創出に向けた観光ルートの作成を検討している。</p>	<p>評価委員による評価</p> <table border="1" data-bbox="1697 304 2065 371"> <tr> <td>評価</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>【評議委員コメント欄】 特になし</p> <table border="1" data-bbox="1697 727 2065 794"> <tr> <td>評価</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>【評議委員コメント欄】 特になし</p> <table border="1" data-bbox="1697 895 2065 962"> <tr> <td>評価</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>【評議委員コメント欄】 特になし</p> <table border="1" data-bbox="1697 1126 2065 1193"> <tr> <td>評価</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>【評議委員コメント欄】 イベントでの町内 or 町外の来場者数について、例えば、町内の方にはクーポンを配り、クーポンを使った人とそうでない人とで区別する方法もある。</p>	評価	4	3	2	1		6	0	0	0	評価	4	3	2	1		6	0	0	0	評価	4	3	2	1		6	0	0	0	評価	4	3	2	1		4	1	1	0
評価	4	3	2	1																																						
	6	0	0	0																																						
評価	4	3	2	1																																						
	6	0	0	0																																						
評価	4	3	2	1																																						
	6	0	0	0																																						
評価	4	3	2	1																																						
	4	1	1	0																																						

7. 地域経済の活性化に資する取組

【課題や問題点】

今年度はコロナ禍で中止となっていた各種イベントを開催し、地域経済の活性化に貢献できた。

【改善点】

次年度以降も3商工会、各種団体と連携を図りながら、地域経済活性化に取り組みたい。

<p>(3) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p> <p>①経営発達支援事業の事業成果、課題、検証の協議 経営発達支援事業推進会議（2月開催）において、経営発達支援事業の事業成果及び課題について検証を行う。</p> <p>②事業評価委員会による評価、検証 行政担当者、日本政策金融公庫国民生活事業統轄、中小企業診断士など外部有識者を活用して構成する「事業評価委員会」を設置する。年1回（年度末）に「事業評価委員会」を開催して、事業の成果・評価・見直しについて意見を求める。</p> <p>③事業の成果・評価・見直し結果の公表 「事業評価委員会」から受けた経営発達支援事業の成果・評価・見直しの結果は、各商工会のホームページに掲載することで小規模事業者が常に閲覧可能な状態とする。また、3商工会の通常総会においても報告・計画の承認を受ける。</p>	<p>開催日 令和5年8月8日（火） 午後 開催場所 Z o o m テーマ C h a t G P T（入門編）</p> <p>開催日 令和5年10月27日（金） 開催場所 ホテル華の湯 テーマ 令和5年度広域事例発表及び小規模企業支援能力向上研修会（対象：経営支援員）</p> <p>開催日 令和5年11月13日（月） 開催場所 ホテル華の湯 テーマ 令和5年度経営支援能力強化研修会Ⅱ（対象：経営指導員）</p> <p>開催日 令和5年12月13日（水） 開催場所 Z o o m テーマ （午前）電子帳簿保存法、インボイス制度対応 （午後）C h a t G P T（応用編）</p> <p>(3) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p> <p>事業の評価・見直しについて、事業評価委員会を2回開催し、事業計画や遂行、実績等について、評価・アドバイスを受けた。最終的な評価・検証の結果はホームページで公開予定。</p>	<table border="1" data-bbox="1697 225 2072 292"> <tr> <td>評価</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>【評議委員コメント欄】 特になし</p>	評価	4	3	2	1		5	1	0	0
評価	4	3	2	1								
	5	1	0	0								
<p>8. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組</p> <p>【課題や問題点】 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組【（1）支援機関との連携を通じた支援のノウハウ等の情報交換、（2）経営指導員等の資質向上等、（3）事業の評価及び見直しをするための仕組み】については、計画通り事業を実施することができた。</p> <p>【改善点】 次年度以降も、これまで通り広域連携を活かしながら経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上に取り組む。</p>												